



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**199**期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役会長兼社長

中野光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第199期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外では米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題など、期の後半にかけて海外経済の不確実性が高まり、先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは中期経営計画『加速17-20』において、計画期間の前半2年間を拡大に向けての「変革の加速」ステージと位置づけ、基本戦略である「収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大」のための基盤創りと「繊維事業の構造改革による反転攻勢」に取り組んでおります。

当期の業績は、連結売上高は前年同期比1,205百万円（3.4%）増収の37,097百万円、営業利益は210百万円（5.3%）減益の3,779百万円、経常利益は286百万円（6.7%）減益の3,983百万円となりました。これから特別損益と法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比369百万円（12.7%）減益の2,538百万円となりました。

当期の期末配当につきましては、経営環境および業績等を勘案し、1株当たり50円とさせていただきたいと存じます。これにより、中間配当50円を加えました当期の年間配当は、1株につき100円となります。

当社は、2017年度から2020年度までを計画期間とする中期経営計画『加速17-20』を実行しており

ます。計画期間の前半2年を更なる拡大のための基盤創りを加速する「変革の加速」ステージ、後半2年は企業価値拡大を加速する「成長の加速」ステージと位置づけ、利益重視に立脚した重点3事業の加速を基本方針とし、①収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大 ②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢 ③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化の3つの基本戦略を、スピード感を持って実行し、当社グループの企業価値拡大を「加速」させてまいります。

前半2年間の「変革の加速」ステージにおいては、主力事業として成長を続ける研磨材事業では、拡大の基盤創りのため、半導体製造の最先端プロセス・次世代プロセスに対応した超精密加工用研磨材の開発・拡販に取り組み、台湾新工場を稼働するとともに、BCP対応も合わせた国内新工場の建設を進めております。化学工業品事業では、営業力強化による新規商材の獲得で、既存生産設備のフル稼働体制を構築するとともに、更なる事業規模拡大のための新規設備投資に着手しました。繊維事業では、インターネット販売など新規販売チャネルの開拓・拡大を進めながら、生産・物流面の絶えざる構造改革で「稼ぐ力」の向上に取り組んでおります。その他の事業では、化成品事業で医療機器用途など新規商材拡大のための設備投資を行うとともに、金型の事業会社をグループに加え、重点3事業に続く第4の柱事業として育成すべく基盤整備を進めています。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



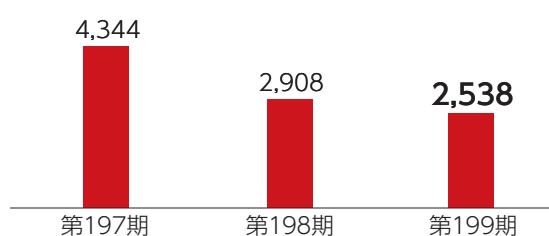
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



事業の概況



研磨材事業

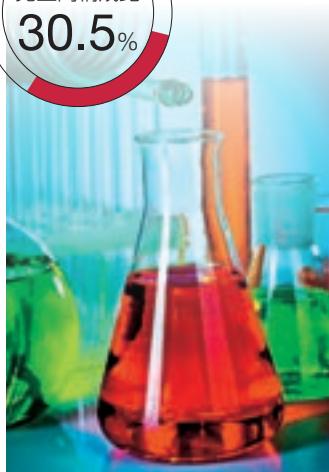


主力の超精密加工用研磨材は、半導体デバイス用途（CMP）等はメモリ・通信用途等を中心とした好調な半導体需要を受け拡大し、ハードディスク用途もデータセンター向けサーバー用需要が底堅く堅調に推移しました。しかしながら、期の終盤では中国の消費減速を背景とした電子部品の出荷落込みの影響を受けました。また、液晶ガラス用途はパネル在庫調整が続き減少しました。

この結果、売上高は前年同期比90百万円増収の10,733百万円、営業利益は170百万円減益の2,081百万円となりました。



化学工業品事業



機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、機能化学品を中心とした新規受注により、堅調に推移しました。また、中国における環境規制の影響による化学工業品生産の日本国内回帰の傾向もあり、柳井工場・武生工場ともにフル稼働となり、売上高・営業利益が過去最高となりました。

この結果、売上高は前年同期比1,588百万円増収の11,305百万円、営業利益は312百万円増益の919百万円となりました。





繊維事業

アンダーウェアを中心とする繊維製品は、インターネットなど新規チャネルでの販売は拡大を続けておりますが、衣料品売場の縮小が続く大手量販店でのメンズインナー定番品の販売が縮小しました。繊維素材では、原材料高騰による製造コスト上昇に対応するため、高採算商材へのシフトと販売量にあわせた設備規模の縮小を行うとともに、老朽設備の新鋭化による生産性向上に取り組みました。

この結果、売上高は前年同期比826百万円減収の11,550百万円、営業利益は335百万円減益の636百万円となりました。



その他の事業

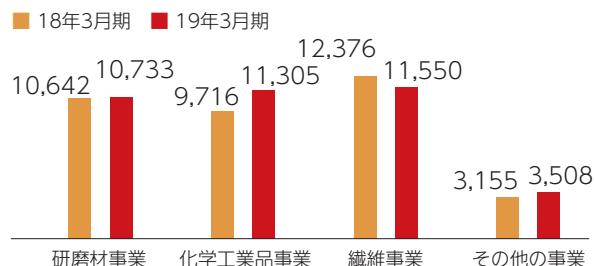
貿易事業は、農業用機械などの輸出は安定的に推移した一方、車両・タイヤなどの自動車関連は大幅に取引が減少しましたが、収益性の高い商材への集中と経費削減で利益は改善しました。化成品事業は、医療機器用部品が堅調に推移しました。また、2018年10月1日付で取得し連結対象となったプラスチック射出成形用金型子会社の売上高が増加しましたが、同社株式の取得関連費用が発生しました。

この結果、売上高は前年同期比353百万円増収の3,508百万円、営業利益は16百万円減益の143百万円となりました。



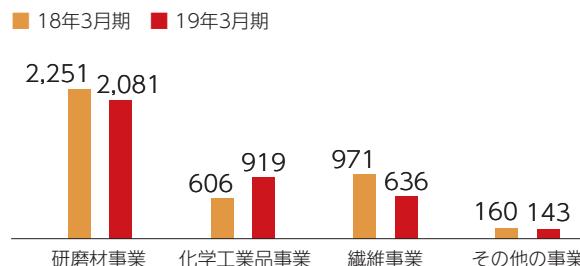
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	2019年3月31日 現 在	2018年3月31日 現 在		2019年3月31日 現 在	2018年3月31日 現 在
資産の部	52,270	48,390	負債の部	19,492	16,241
流動資産	19,858	19,141	流動負債	12,168	9,259
現金及び預金	4,895	4,764	支払手形及び買掛金	3,576	4,048
受取手形及び売掛金	9,369	8,843	電子記録債務	1,040	510
商品及び製品	2,191	2,220	短期借入金	1,879	1,217
仕掛品	1,924	1,736	リース債務	90	97
原材料及び貯蔵品	1,118	1,064	未払法人税等	581	325
その他	376	528	賞与引当金	648	659
貸倒引当金	△17	△17	返品調整引当金	44	42
			その他	4,307	2,359
固定資産	32,411	29,248	固定負債	7,323	6,982
有形固定資産	29,126	26,258	長期借入金	426	120
建物及び構築物	6,903	5,985	リース債務	80	107
機械装置及び運搬具	5,721	5,250	繰延税金負債	812	726
土地	13,912	13,874	再評価に係る繰延税金負債	732	732
リース資産	55	30	退職給付に係る負債	4,860	4,947
建設仮勘定	1,594	738	資産除去債務	307	240
その他	939	378	その他	104	107
無形固定資産	828	380	純資産の部	32,778	32,148
投資その他の資産	2,456	2,610	株主資本	30,729	29,907
投資有価証券	2,024	2,163	資本金	6,673	6,673
繰延税金資産	136	154	資本剰余金	2,174	2,174
その他	294	292	利益剰余金	22,455	21,631
貸倒引当金	△0	△0	自己株式	△573	△571
資産合計	52,270	48,390	その他の包括利益累計額	2,048	2,240
			その他有価証券評価差額金	550	668
			繰延ヘッジ損益	△6	△8
			土地再評価差額金	1,270	1,272
			為替換算調整勘定	238	330
			退職給付に係る調整累計額	△3	△21
			非支配株主持分	0	0
			負債純資産合計	52,270	48,390

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2018年4月1日～ 2019年3月31日	2017年4月1日～ 2018年3月31日
売上高	37,097	35,891
売上原価	24,685	23,453
売上総利益	12,412	12,438
販売費及び一般管理費	8,632	8,448
営業利益	3,779	3,989
営業外収益	350	458
受取利息	5	4
受取配当金	47	46
固定資産賃貸料	254	234
補助金収入	—	135
その他	41	37
営業外費用	146	179
支払利息	14	12
固定資産賃貸費用	67	64
コミットメントフィー	33	35
その他	31	66
経常利益	3,983	4,269
特別利益	0	187
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	0	186
特別損失	124	227
固定資産処分損	96	121
減損損失	25	21
関係会社清算損	—	41
環境対策費	—	41
その他	1	1
税金等調整前当期純利益	3,859	4,229
法人税、住民税及び事業税	1,156	1,250
法人税等調整額	164	70
当期純利益	2,538	2,908
非支配株主に帰属する 当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,538	2,908

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	2018年4月1日～ 2019年3月31日	2017年4月1日～ 2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	4,808	3,698
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△3,339	△5,309
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△1,302	△2,434
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△30	43
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	136	△4,002
現金及び現金同等物の 期首残高	4,694	8,697
現金及び現金同等物の 期末残高	4,830	4,694

Topics 1

研磨材事業

台湾で研磨材工場が稼働へ

研磨材事業で初となる海外生産拠点が台湾で本格稼働しました。

2017年3月、フジボウ愛媛(株)が台湾南部の古都・台南市のサイエンスパーク内に「台湾富士紡精密材料股份有限公司」を設立。その後、工場建設に着手し、2018年10月に竣工式を終え、12月から製品の出荷を始めています。

AI・IoT時代の到来により、半導体を始めとする先端産業は質、量ともに一層の拡大が予測されます。

例えば、電気自動車



やグリーンエネルギー、大容量・高速情報処理で需要が拡大するパワー半導体は、新たな化合物が用いられ、超精密研磨の難易度は増えています。

こうしたなかでも台湾がIT産業の先頭を走り、技術革新を支える重要な役割を担っていくことは、今後も変わらないといえます。

先端企業が集結する台湾に立地する利点を生かし、日本で培ってきた技術力により頼られるパートナーとして、新しい市場の開拓に挑戦していきます。



Topics 2

化学工業品事業

地域に親しまれる



柳井化学武道館

2019年3月、山口県柳井市と柳井化学工業(株)との間で、柳井市武道館の施設命名権調印式が行われました。同武道館は、2016年4月から「FUJIBO柳井化学武道館」の名で地域に親しまれていますが、引き続き、同社が3年間の施設命名権を取得しました。

剣道場2面、柔道場2面、トレーニング室などを備えた同武道館は、合気道、空手、剣道などの練習施設として2014年11月のオープン以来、年間2万人以上が利用してきました。



柳井市の地元企業として80年の歴史を誇る柳井化学工業(株)は、創業以来成長を続け、今では医薬原料、農薬、電材、機能化学品などファイン

ケミカルの中間体の生産拠点として化学業界から信頼される存在です。現在は、柳井市の本社工場のほか、福井県武生市にも生産拠点を有し、フジボウグループの中核事業に成長しています。安全・環境を第一にこれからも地域社会の発展に貢献していきます。



Topics 3

化成品事業

化成品事業に東京金型が仲間入り

2018年10月に㈱東京金型がフジボウグループの一員となりました。

同社は高い精度と信頼性が求められる自動車用部品メーカーと長年の取引実績があり、特に、複雑なデザインに加え、光学部品としてわずかな歪みも許されない高級車のヘッドライトなどの射出成形用金型の設計・製造・販売に強みがあります。



設計機器や加工機の高精度化・デジタル化にも積極的に取り組ん

でいるほか、中型・大型成形機を自社で保有し、成形品の見極めも実施できるため、ユーザーの設計変更や、短納期への対応力に定評があります。



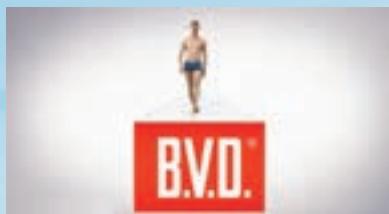
プラスチック成形の品質を左右する金型の設計・製造技術は、設計と射出成形現場の両方を熟知していないと難しい技術資産です。同社の金型ノウハウを化成品事業に取り込み、射出成形品の更なる品質向上と、金型と成形品を合わせた提案・販売体制によって、事業拡大を図ります。

Topics 4

新企業CM

あなたの周りはみんなみんなフジボウ♪新企業CM登場

この4月からフジボウグループの企業CMが新しくなりました。ファッションショーの舞台となるランウェイに、B.V.D.を着用した男女（繊維事業）、タブレットを手にしたビジネスマン（研磨材事業）、プラスチックを手に実験中の研究員（化学工業品事業）などが次々と登場します。



インターネットオリジナル企画商品で売上を拡大するB.V.D.ブランド、積極的に経営資源を投入し、基幹事業に

育成した研磨材事業と化学工業品事業。

変化を恐れずに自社のコア技術を活かせる領域を開拓してきた

フジボウグループの各事業を、軽快な「ラ・バンバ」のリズムに乗せて紹介し、最後に「あなたの周りはみんなみんなフジボウ」と結びます。

新企業CMは、BSフジ「プライムニュース」、福島テレビ「ネプリーグ」、「めざましテレビ第2部」などで放映されています。



会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体93名 連結1,388名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

連結対象会社 (2019年3月31日現在)

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)
台湾富士紡精密材料股份有限公司
フジケミ(株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

■ その他の事業

フジボウ愛媛(株)
フジボウテキスタイル(株)
フジケミ(株)
(株)東京金型

(注) 2019年4月1日付で(株)フジボウアパレルは、フジボウトレーディング(株)を吸収合併しております。

■ 繊維事業

フジボウ愛媛(株)
(株)フジボウアパレル
フジボウトレーディング(株)
(株)フジボウソーイング
富士紡(常州)服装有限公司
ジンタナフジボウコーポレーション
フジボウテキスタイル(株)
タイフジボウテキスタイル(株)
アングル(株)
富士紡(上海)商貿有限公司

役員 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長兼社長 社長執行役員	中野光雄
代表取締役 副社長執行役員	青木隆夫
代表取締役 専務執行役員	吉田和司
取締役 上席執行役員	木原勝志
取締役 上席執行役員	豊岡保雄
取締役	茅田泰三
取締役	秀島信也
取締役	ルース・マリー・ジャーマン
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	生田目克
監査役	大塚幸太郎

(注) 1. 取締役の茅田泰三、秀島信也、ルース・マリー・ジャーマンの3氏は社外取締役であります。
2. 監査役の大西秀昭、生田目克、大塚幸太郎の3氏は社外監査役であります。

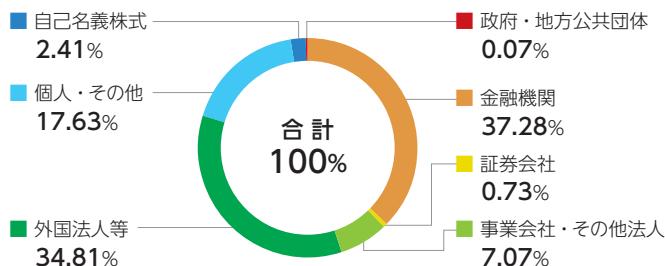
執行役員 (2019年6月27日現在)

常務執行役員	藤岡敏文
執行役員	鈴木眞
執行役員	野口篤謙
執行役員	岡田祐明
執行役員	井上雅偉
執行役員	中村隆夫
執行役員	平野治
執行役員	安藤興司

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	5,898名

所有者別分布状況

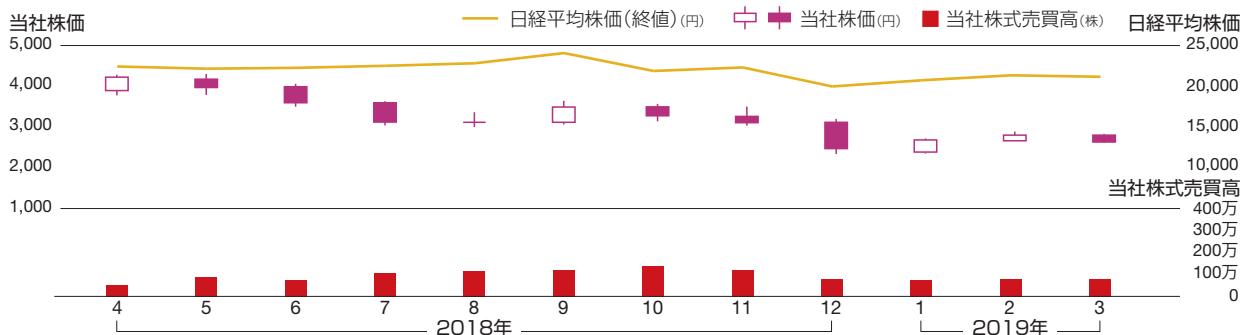


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	849,400	7.43
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	607,611	5.31
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.66
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	523,100	4.57
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	377,000	3.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	375,100	3.28
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	371,000	3.24
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.82
フジボウ共栄会	274,800	2.40

(注) 1. 当社は自己株式を281,911株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.fujibo.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告
によることができない場合は、東京都において
発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

